今、福島ってどうなってるの？

福島をまるっと紹介するリポートマンガ

第6回 米編

福島第一原子力発電所事故から7年。私たちの周りにも「福島県産」の果物やお米、野菜などがずいぶん復活してきていることを感じます。でも、この食べ物って本当に安全…？本誌では、「今の福島」の様子をしっかりとリポートしてまいります！

取材・マンガ／おぐらなおみ　文責／レタスクラブ編集部
取材協力／JA福島さくら

福島県の米は全量全袋検査だから安心！

平成24年の出荷分から今も、福島の米は放射性物質の全量全袋検査をしています。個人で出荷する場合も、自分たちで食べる米についても、検査することが義務づけられていて、検査していない米が市場に出ることはありません。また、土壌への取り組みもしています。米のセシウムの吸収を抑制するために、土壌に肥料であるカリウムを散布するのが有効とされています。これらの取り組みが福島の米の安心につながっています。

JA福島さくらのみなさんに聞きました

郡山で生まれたブランド米「あさか舞」の挑戦

粘土質の土壌、きれいな水、寒暖差のある気候など、環境が揃った郡山市は全国でも有数の米の生産量を誇り、米の食味ランキングもトップレベル。その中の「一等米」だけを厳選したブランド米がJA福島さくらが推す「あさか舞」です。さらに、その上を目指すべく「ASAKAMAI887」というプレミアム米を作る取り組みも。食味値88点以上、88の手間、7つの生産基準という独自の厳しい条件のため、まだそれを満たす米は生まれていないとのこと。食べられる日が楽しみ！

どこで買えるか気になったらこちら！
JA福島さくら

おぐらなおみ
群馬県出身。マンガ家＆イラストレーター。著書に『こんな息子に母がした』『育児バビデブー』（辰巳出版）。『働きママン1年生』『新 働きママン 谷のぞみ（32）ワーママデビューします！』（小社刊）。最新刊は、『母娘問題 オトナの親子』（中央公論新社）。

発見！ふくしま
ふくしまの魅力を伝えるLINE@開設
福島県産の新米2kgが500名さまにあたるアンケートを実施中。
友だち登録後のご応募で当選確率5倍！
⬅友だち登録はこちら